

プロテオグリカン及び青森県産素材を配合した

シャンプーの試作と有用性評価

Experimental production and utility evaluation of the shampoos containing Proteoglycan and/or other natural ingredients which are produced in Aomori

平山 智代・阿部 馨*

(*現所属；公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター)

プロテオグリカン (PG) は保水力が高く、近年スキンケア化粧品素材として注目されており、ヘアケア用の化粧品素材としても期待できる。また、PG 以外の青森県産の素材も、クリーンで自然豊かな青森で生育したという良いイメージを消費者に訴求しやすいため、化粧品素材としての有用性が期待されている。本テーマでは、PG や青森県産素材の毛髪への美容効果を検証し、青森県産のシャンプーを開発すること目的として、八戸産「ふのり」や横浜町産「菜の花オイル」を単独または PG と併用したシャンプーを試作し、洗髪後の毛髪光沢及びくし通りにより有用性を評価した。PG や「ふのり」を添加したシャンプーでは、毛髪光沢の改善効果はみられなかったが、「菜の花オイル」では、毛髪光沢の改善効果が高かった。一方、くし通りの評価ではどれも大きくは改善しなかった。PG と「ふのり」または「菜の花オイル」の併用では、毛髪光沢とくし通りの評価において、市販品と同等またはそれ以上の良好な特性を示すことが分かった。特性の良かった組み合わせで商品化を目指すとともに、今後も PG と青森県産素材の併用美容製品の検討を進める。

